

令和 6 年 3 月吉日

世田谷区立桜小学校

校長 大曾根 博美 様

世田谷区立桜小学校

学校評価委員会

令和 5 年度 学校関係者評価報告書

＜学校関係者評価委員＞

委員長： 下山裕介

委員：天野健太郎，須藤美子，山田和美，渡邊梢（五十音順）

<学校関係者評価委員活動>

令和5年 9月：第1回評価委員会（独自項目の決定）

令和5年 10月：学校評価アンケート 実施

令和6年 1月：学校評価アンケート 結果集計

令和6年 3月：学校関係者評価報告書 作成・提出

<学校関係者アンケート集計結果分析>

児童共通評価項目

○ 学習について

- ・ 「先生が児童に対して考える時間を設けている」、「授業中において話し合ったり発表し合ったりする機会がある」に対して、約90%が肯定的な回答であった。
- ・ 先生の板書や授業での工夫についても肯定的な回答が多かった。

○ 生活指導について

- ・ 学校の決まりを守った行動について、肯定的な回答が約89%あった。
- ・ 児童に対する先生の注意について、児童は理解している傾向がみられた。

○ 学校行事について

- ・ 「学校行事が楽しい」に対しては、約95%が肯定的な回答であった。
- ・ 学校行事に対する達成感も高く、児童の意欲を大切にしている先生の考え・姿勢にも理解が得られている。

○ キャリア教育について

- ・ 自分の生き方や将来を考える授業についての理解はやや低かった。
- ・ 目標に向かって努力している回答は約80%と、昨年度より高かった。

○ 先生について

- ・ 先生の指導の丁寧さを感じている児童は多かった。
- ・ 先生へ相談しやすいと感じている児童はやや少なかった。

○ 全般について

- ・ 学校ならびに学校生活へ好意的に感じている児童は多かった。
- ・ 家庭での学習、塾での学習について肯定的な回答はやや少なかった。

○ 学校独自項目について

（主に、児童自らが考えている学校生活、将来に関する項目を設定した。）

- ・ 友達の良いところをほめることができる、友達と協力している児童が非常に多かった。
- ・ 授業において挙手をしている児童は少なかった。
- ・ 近所や地域の方へのあいさつを自らしている児童はやや多かった。

保護者共通評価項目

○ 学習指導について

- ・ 考えることや課題解決を重視する授業、ならびに授業における児童が話し合ったり、発表し合ったりする機会、さらには映像やタブレットによる分かりやすい授業に対して、十分な理解が得られている。
- ・ 板書や配布プリントの工夫に対する肯定的な回答はやや少なかった。

○ 生活指導について

- ・ 学校での過ごし方やルールに対する指導について概ね理解は得られている。

○ 学校行事について

- ・ 学校行事に対して、児童が楽しさ、達成感を得られていると理解されている。
- ・ 学校が子供の意欲を大切にしていることにも理解されている。

○ キャリア教育について

- ・ 児童の目標をもたせること、将来について考えることを考慮した授業に対する肯定的な回答はやや多かった。

○ 先生について

- ・ 学校における指導の丁寧さ、児童の相談のしやすさについて肯定的な回答が多かった。

○ 全般について

- ・ 学校生活や教育指導に対する満足度は高いとみられる。
- ・ 児童の自主的な学習への取り組みに対する満足度はやや高かった。
- ・ 「学び舎」による近隣の教育機関との連携・交流活動について理解は少なかった。

○ 学校からの情報提供について

- ・ 学校公開や保護者会での児童の様子、ホームページやメールによる情報提供には満足されている。
- ・ 「学び舎」についての情報提供に対する回答はやや否定的であった。

○ 学校運営について

- ・ 学校の重点目標の周知、教育活動の取り組みには満足されている。

○ 家庭と学校との連携について

- ・ 学校公開へすすんで参加している回答が多かった。
- ・ 学校行事、PTA・地域主催の行事へ進んで参加している回答もやや多かった。

○ 地域との連携について

- ・ 地域の人や施設を教育活動に生かしている回答が多かった。
- ・ 学校が地域活動に協力的であるとの回答も多かった。

○ 学校の安全性について

- ・ 安全な学校づくり、自然災害への対応について肯定的な回答が多かった。

○ 学校独自項目について

(家庭・地域における児童の様子、コミュニケーションに関する項目を設定した)

- ・ 家庭での習慣、テレビ・スマートフォンのルールを決めている回答が多かった。

- ・ 集団生活で約束を守ること、譲り合うことの大切を、家庭で十分伝えられている。
- ・ 子供の良さや努力をほめることも積極的に行われている。
- ・ 「プロジェクト桜」に対する把握・理解が少なかった。

地域共通評価項目

- 生活指導について
 - ・ 児童は交通ルールを守って通学していると感じられている。
- 学校行事について
 - ・ 学校行事の充実さ、地域への配慮にも十分に理解されている。
- 学校からの情報提供について
 - ・ 学校からのお知らせには満足されている傾向であり、「学び舎」の活動に関して把握されている方がやや多かった。
- キャリア教育について
 - ・ 学校の重点目標については理解されている。
 - ・ 地域の意見に対する学校の対応に満足されている。
- 地域との連携について
 - ・ 学校協議会の役割、学校運営委員会の活動・役割が理解されている。
- 学校の安全性について
 - ・ 安心・安全な学校づくりに十分理解されている。
- 学校独自項目について
 - (地域と学校・児童とのつながりに関する項目を設定した)
 - ・ 子育てや教育を通じて、学校は上手に地域と連携していると理解されている。

自由記述

- ・ 児童より、学校は明るく楽しいとの回答が多かった。
- ・ 保護者より、楽しい学校生活、ならびに学校行事における経験に対して、学校ならびに先生方へ感謝する回答がみられた。学校生活における児童の落ち着き、先生方の教育活動についても満足度の高い回答もみられた。
- ・ 地域の方より、児童が心豊かに成長できる環境づくりにおいて、家庭と学校の連携・協力に関する回答があった。

<総括>

アンケート結果の分析結果から、評価委員会として指摘すべき大きな問題はみられなかった。児童たちが楽しく学校生活を過ごしている様子、さらには児童たちの楽しさ・経験に対する保護者の感謝が伝わってきた。特に、教育活動における児童も楽しませようとする先生方の工夫が、保護者にも十分に理解されていることがわかった。学校生活において児童が学校や友達とのつながりを感じており、学校生活・学校行事で協力し合う様子が感じられた。

児童の学校生活・授業に対する先生の積極的な姿勢や、さらには保護者や地域とのつながり・連携が強いという、桜小学校の特徴を大切に、本評価報告が児童たちのさらなる充実した学校生活の一助となることを願って報告とする。

以上